

「豚コレラ」対策に係る現状について

1 国内における発生状況

- ・ 平成30年9月、岐阜県岐阜市の養豚場において、国内では26年ぶりに「豚コレラ」の発生を確認
- ・ その後、周辺府県に感染が拡大する中、令和元年9月13日、関東地方では「初」となる「埼玉県」で発生を確認
- ・ これまで、「8府県」において、「45事例」の発生が確認されており、「約14万4千頭」が殺処分
- ・ 岐阜県、愛知県など「9県」で、「1,200頭」を超える「野生いのしし」の「豚コレラ」感染を確認

2 農林水産省の方針決定

- (1) 豚コレラ防疫対策本部（令和元年9月20日）
 - ・ 「飼育豚」に対して、「予防的ワクチン接種」が可能となるよう「防疫指針」を改訂
 - ・ 製造メーカーに対して、「豚コレラワクチン」増産要請
- (2) 牛豚等疾病小委員会に「防疫指針」改訂案提示（令和元年9月27日）
 - ・ 「野生いのしし」で豚コレラ感染が確認された地域を「ワクチン接種推奨地域」に設定（現在「9県」が該当）

3 本県の対応状況

- (1) 「多段階の防疫対策」の強化
 - ① 農場対策
 - ・ 家畜防疫員による巡回指導の実施や「飼育豚」の「監視検査」の強化
 - ・ 「畜舎消毒」や「車両消毒」の徹底
 - ・ 「ネズミ」や「野鳥」など、ウイルスを畜舎に持ち込む「野生小動物」の侵入防止対策の徹底
 - ② 県内への「水際対策」
県内の空港及び海港（3カ所）において
 - ・ 消毒マットの設置による「靴底消毒」の実施
 - ・ 海外から、許可なく「食肉製品」を持ち込めないことを周知するためのポスターを掲示し、注意喚起を実施
- (2) 「迅速な情報提供」と県内関係者との連携強化
 - ・ 養豚関係者へのリアルタイム情報の提供
 - ・ 県ホームページで、県民の皆様へ、正確な情報を提供
※「豚コレラ」は「豚、いのしし」の家畜伝染病であり、人に感染することはない
 - ・ 県内の関係機関、養豚農家、支援協定締結団体など、関係者との連携強化
- (3) 「野生いのしし」に対する対応
 - ・ 「野生いのしし」豚コレラ検査の実施（令和元年9月26日現在）

H30	20頭（死亡5、捕獲15）	
R元	3頭（死亡3）	全て「陰性」
 - ・ 農場周囲への「侵入防止柵」設置の推進

国内における「豚コレラ」発生状況

飼育農場(9/26)

発生県	事例数	発生頭数
岐阜県	22例	69,909頭
愛知県	16例	62,560頭
三重県	1例	4,189頭
福井県	2例	985頭
埼玉県	2例	2,060頭
長野県	2例	489頭

「愛知県1例目」の関連

長野県	2,482頭
大阪府	737頭
滋賀県	699頭

「埼玉県1例目」の関連

山梨県（食肉センター）	37頭
-------------	-----

合計 45例 約144,000頭

野生いのしし(9/20)

検査県	陽性頭数
岐阜県	948頭
愛知県	97頭
三重県	7頭
福井県	14頭
長野県	108頭
富山県	18頭
石川県	8頭
滋賀県	1頭
埼玉県(9/24)	1頭
合計	1,202頭

